

2026年度

羽衣国際大学ティーチング・ポートフォリオ

学科	現代社会学科	氏名	合澤 浩之	作成日	2026/5/18
----	--------	----	-------	-----	-----------

I. 責務

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第1Q等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考
中小企業論	専門教育科目（現代社会）	2	
マーケティング論Ⅰ	専門教育科目（現代社会）	2	
商学入門	専門教育科目（現代社会）	1	
導入ゼミナールⅠ	専門教育科目（現代社会）	2	
専門ゼミナールⅠ	専門教育科目（現代社会）	3	
専門ゼミナールⅢ	専門教育科目（現代社会）	4	
	アイテムを選択してください。		

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
業界研究	専門教育科目（現代社会）	2	
サービスマーケティング	専門教育科目（現代社会）	3	
マーケティング論Ⅱ	専門教育科目（現代社会）	2	
マーケティング入門	専門教育科目（現代社会）	1	
大学入門ゼミナールⅡ	基盤教育科目	1	
専門ゼミナールⅡ	専門教育科目（現代社会）	3	
専門ゼミナールⅣ	専門教育科目（現代社会）	4	

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

2. 理念

企業での実務経験を持つ教員として、実践的職業人の育成に重点を置いています。

ディプロマ・ポリシーとの関連では、講義では、DPI-2：経済・経営の分野での専門的な知識を修得している、レベル3：修得した専門的知識を活用して、様々な社会の現象を説明したり、問題点を指摘できる、ゼミでは、DP4-I 新たな社会の課題を発見し解決するための考察力、問題解決力を修得している、レベル2：社会の課題を論理的に分析し課題を引き起こしている原因を究明することができる、を目標に教育を実践しています。

具体的には、講義では、実際の企業の事例を使った演習を通じて、講義で学んだ専門知識を企業事例に当てはめて理解し考察する力、ゼミでは、個人研究、グループ研究を通じて、経営・マーケティングに関する自分の関心のあるテーマを決めて、企業が直面する市場環境、競争環境にどのように対応し、どのような価値を市場・社会に提供しているのか、を考察する力を学生が修得することを期待しています。

【添付資料】

2026年度

羽衣国際大学ティーチング・ポートフォリオ

学科	現代社会学科	氏名	朝西 知徳	作成日	2026/5/7
----	--------	----	-------	-----	----------

I. 責務

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第I Q等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考
健康スポーツ論	専門教育科目（現代社会）	2	
コーチング論	専門教育科目（現代社会）	3	
専門スポーツC（野球）	専門教育科目（現代社会）	2	
大学入門ゼミナールⅠ	基盤教育科目	1	
専門ゼミナールⅠ	専門教育科目（現代社会）	3	
専門ゼミナールⅢ	専門教育科目（現代社会）	4	

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
スポーツ実習B（野外活動）	基盤教育科目	1	

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
専門スポーツD（野球）	専門教育科目（現代社会）	2	
大学入門ゼミナールⅡ	基盤教育科目	1	
専門ゼミナールⅡ	専門教育科目（現代社会）	3	
専門ゼミナールⅣ	専門教育科目（現代社会）	4	
スポーツ心理学	専門教育科目（現代社会）	1	
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
スポーツ実習B（スキー）	基盤教育科目	1	
	アイテムを選択してください。		

2. 理念

私が主に担当するスポーツコースの学生は、高校までスポーツを中心に生活していた者が多く、学習習慣の身についていない場合がほとんどです。よって、入学時は 90 分間の授業に集中して臨むことが困難な状況です。

授業では、遅刻・飲食・居眠り・私語・不必要なスマートフォンの使用を禁じ、学生が授業に集中できる環境づくりを目指しています。また、新聞記事・小説・随筆・評論・映画（DVD）等の教材を用いて、学生が興味を引く内容を多く提供するとともに思考する時間を増やし、学生が卒業後に常識ある立派な社会人となってもらえるよう努力しています。

全学的ディプロマ・ポリシーとの関係では、「スポーツ心理学」「健康スポーツ論」などの専門教育科目において、DPI-2「スポーツ分野での専門的な知識の修得」に力を注いでいます。

【添付資料】

2026年度

羽衣国際大学ティーチング・ポートフォリオ

学科	現代社会学科	氏名	池田 玲子	作成日	2026/5/18
----	--------	----	-------	-----	-----------

I. 責務

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第1Q等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考
人的資源管理論	専門教育科目（現代社会）	3	
経営学入門	専門教育科目（現代社会）	1	
生産管理論	専門教育科目（現代社会）	2	
専門ゼミナールⅢ	専門教育科目（現代社会）	4	
導入ゼミナール	専門教育科目（現代社会）	2	
専門ゼミナールⅠ	専門教育科目（現代社会）	3	
	アイテムを選択してください。		

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
大学入門ゼミナールⅡ	基盤教育科目	1	
専門ゼミナールⅡ	専門教育科目（現代社会）	3	
専門ゼミナールⅣ	専門教育科目（現代社会）	4	
経営管理論	専門教育科目（現代社会）	2	
経営組織論	専門教育科目（現代社会）	3	
国際経営論	専門教育科目（現代社会）	2	
	アイテムを選択してください。		

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
キャリアサポート演習B2	基盤教育科目	1	

2. 理念

近年、基礎学力・日本語能力に何らかの課題があり、また、個人的または生活上の課題から集合教育における学習技術を獲得してこなかった学生が教室の大半を占めています。そのような学生に、経営学の知識獲得を用いて、学校での学びに対する信頼を獲得すること（＝学校での学習が現実の社会で必要であること、さらに有用であること）と学ぶ技術の獲得を目的としています。

さらに「獲得してこれなかった」学生について大人数講義でも個別に対応できるよう授業運営を心がけています。企業を対象とする授業やゼミを通じて学生の就職活動とキャリアデザインに貢献することを目指しています。

具体的には「DPI-I（多様性への理解）人間、社会、文化、地域の多様性についての基本知識を修得し、幅広い視野と柔軟な感性で「もの」「こと」を受けとめ、理解する力を修得している」DP4-2（生涯学習力）多様な学修経験を総合し、自らのキャリアをデザインする力、生涯にわたって主体的に学び続ける創造的思考力を有している」の育成に尽力しています。

【添付資料】

2026年度

羽衣国際大学ティーチング・ポートフォリオ

学科	現代社会学科	氏名	川田 敦相	作成日	2026/5/14
----	--------	----	-------	-----	-----------

I. 責務

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第1Q等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考
ロジスティクスマネジメント論	専門教育科目（現代社会）	2	
生活と経済	基盤教育科目	1	
国際経済学	専門教育科目（現代社会）	3	
アジア経済論Ⅰ	専門教育科目（現代社会）	2	
大学入門ゼミナールⅠ	基盤教育科目	1	
導入ゼミナールⅠ	専門教育科目（現代社会）	2	
専門ゼミナールⅠ	専門教育科目（現代社会）	3	

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
交通サービス論	専門教育科目（現代社会）	2	
生活と経済	基盤教育科目	1	
経済学入門	専門教育科目（現代社会）	2	
アジア経済論Ⅱ	専門教育科目（現代社会）	2	
導入ゼミナールⅡ	専門教育科目（現代社会）	2	
専門ゼミナールⅡ	専門教育科目（現代社会）	3	
	アイテムを選択してください。		

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

2. 理念

本学には、入学前まで十分な学習習慣を身に付けてこなかった学生、優れた能力を持ちながらも十分発揮できていなかった学生、さらには日本語能力水準の異なる外国人留学生など多様な背景とレベルを持つ学生が集まっています。そのような学生一人一人に対し、日本国内はもとより国際社会でも通用する一人前の「実践的職業人」として育成することの重要性を強く認識しています。

担当講義では、「理論的枠組み」の理解に留まらず、「実社会の動き」を踏まえて学べる、実践的で”役立つ”授業になるよう努めています。卒業後、社会人として求められる「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の基礎を築くよう心掛けています。

現代社会学科のディプロマ・ポリシーとの関係では、基盤教育科目では DPI-1「現代社会の課題を理解するための基本的な知識の修得」、専門科目では DPI-2「経済・経営分野での専門的な知識の修得」を重視しています。その上で、DP2-1「現代社会で実践的な職業人として活躍するためのコミュニケーション能力、論理的思考力、数量的スキルの修得」等も踏まえた教育に取り組んでいます。

【添付資料】

2026年度

羽衣国際大学ティーチング・ポートフォリオ

学科	現代社会学科	氏名	杉原 充志	作成日	2026/5/7
----	--------	----	-------	-----	----------

I. 責務

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第1Q等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考
社会と法律	基盤教育科目	1	
法律学Ⅰ	専門教育科目（現代社会）	2	
行政法	専門教育科目（現代社会）	3	
キャリアサポート演習A2	基盤教育科目	1	
導入ゼミナールⅠ	専門教育科目（現代社会）	2	
専門ゼミナールⅢ	専門教育科目（現代社会）	4	
	アイテムを選択してください。		

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
日本国憲法	基盤教育科目	1	
法律学Ⅱ	専門教育科目（現代社会）	2	
地域行政論	専門教育科目（現代社会）	3	
大学入門ゼミナールⅡ	専門教育科目（現代社会）	1	
導入ゼミナールⅡ	専門教育科目（現代社会）	2	
専門ゼミナールⅣ	専門教育科目（現代社会）	4	
	アイテムを選択してください。		

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

2. 理念

1. 法律系科目を担当し、公務員養成にも力を入れる立場から、私が自身の究極の教育目標としているのは真の「主権者」の育成である。
2. ディプロマ・ポリシーとの関係では、専門科目は「現代社会の課題を理解するための基本的な知識を修得」したうえで、その基礎知識を用いて、「社会の課題を具体的に説明する」ことができるようになること。また、基盤教育科目においては、「人間、社会、文化、地域の多様性についての基本知識を修得」したうえで、世の中に「多様な価値観があることを理解し、幅広い視野と柔軟な感性で現代社会の様々な事象を受けとめ、理解する」ことができるようになること。
3. 個々の授業においては、一人一人の学生が法律の世界を通して生身の人間の生き様（弱さ）を知り、そのうえで法的なものの見方（リーガルマインド）を身につけることができるように、「人間学」としての法律学と「スキル」としての法律学の両立を心掛け、日々の教育にあたっている。

【添付資料】

2026年度

羽衣国際大学ティーチング・ポートフォリオ

学科	現代社会学科	氏名	日向 浩幸	作成日	2026/5/22
----	--------	----	-------	-----	-----------

I. 責務

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第I Q等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考
社会と経営	基盤教育科目	I	
経営戦略論 I	専門教育科目（現代社会）	2	
ブランド論	専門教育科目（現代社会）	3	
専門ゼミナール I	専門教育科目（現代社会）	3	
専門ゼミナール III	専門教育科目（現代社会）	4	
大学入門ゼミナール I	基盤教育科目	I	

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
大学間連携講座 A（関空・泉州・南大阪地域学）	基盤教育科目	I	

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
経営哲学	専門教育科目（現代社会）	3	
ビジネスモデル論	専門教育科目（現代社会）	2	
経営戦略論 II	専門教育科目（現代社会）	2	
専門ゼミナール II	専門教育科目（現代社会）	3	
専門ゼミナール IV	専門教育科目（現代社会）	4	
導入ゼミナール II	専門教育科目（現代社会）	2	
	アイテムを選択してください。		

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

2. 理念

私の教科目では、どんな戦略が、どのような理由で成功するのか。論理的アプローチや理論と実践の連結を促す教育を行っています。学習した理論とその体系を理解し、実際の企業事例（ケーススタディ）に適用し分析・提言できる能力を育成いたします。そのため、企業事例（ケーススタディ）を用いたディスカッションやグループワークを行うことにより、複雑な経営課題を分析・提言する力を身につけます。不確実な環境下においても事象を構造化し、自ら仮説を立て解決策を導き出す力も育成いたします。

全学的ディプロマ・ポリシーとの関係においては、大学間連携講座において社会人基礎力の養成を図ることを目的として、企画力・プレゼンテーション力・チームワーク力等を育成しています。加えて、DP4-1（課題解決力）「学内外の能動的学修経験を通して、課題を発見する力、課題解決のために必要な情報を収集し分析する力、課題解決に向けた行動力を身につけている」を育成しています。その他の科目においては、DP4-2（生涯学習力）「多様な学修経験を総合し、自らのキャリアをデザインする力、生涯にわたって主体的に学び続ける創造的思考力を有している」を育成しています。

【添付資料】

2026年度

羽衣国際大学ティーチング・ポートフォリオ

学科	現代社会学科	氏名	森本 和義	作成日	2026/5/7
----	--------	----	-------	-----	----------

I. 責務

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第1Q等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考
商業簿記Ⅰ	専門教育科目（現代社会）	2	
管理会計Ⅰ	専門教育科目（現代社会）	3	
大学入門ゼミナールⅠ	基盤教育科目	1	
専門ゼミナールⅠ	専門教育科目（現代社会）	3	
専門ゼミナールⅢ	専門教育科目（現代社会）	4	
会計学Ⅰ	専門教育科目（放送・メディア映像）	2	
	アイテムを選択してください。		

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
簿記入門	基盤教育科目	1	
管理会計Ⅱ	専門教育科目（現代社会）	3	
導入ゼミナールⅡ	専門教育科目（現代社会）	2	
専門ゼミナールⅡ	基盤教育科目	3	
専門ゼミナールⅣ	専門教育科目（現代社会）	4	
商業簿記Ⅱ	専門教育科目（現代社会）	2	
会計学Ⅱ	専門教育科目（現代社会）	2	

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

2. 理念

羽衣国際大学の建学の精神、すなわち「愛真教育」が、私の教育の基本理念であります。学生諸君には、真理の探究と他者への愛を融合させた愛真精神を理解し、修得してほしいと考えています。

現代社会学科のディプロマ・ポリシーDP2-I（汎用的能力）に明記されていますが、簿記・会計学の学修を通じて、現代社会で実践的職業人として活躍するための論理的思考力や数量的スキルを修得してほしいと考えています。

全学的ディプロマ・ポリシーとの関係では、DP4-I（課題解決力）「課題を発見する力、課題解決のために必要な情報を収集し分析する力、課題解決に向けた行動力」の育成に教育上の力点を置いています。

【添付資料】

2026年度

羽衣国際大学ティーチング・ポートフォリオ

学科	現代社会学科	氏名	岡崎 拓	作成日	2026/5/20
----	--------	----	------	-----	-----------

I. 責務

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第1Q等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考
経済学Ⅱ	専門教育科目（現代社会）	3-4	
現代社会学特別講義 D	専門教育科目（現代社会）	2-4	
日本経済入門	専門教育科目（現代社会）	1-4	
専門ゼミナールⅠ	専門教育科目（現代社会）	3	
企業経済学	専門教育科目（現代社会）	3-4	
導入ゼミナールⅠ	専門教育科目（現代社会）	2	
専門ゼミナールⅢ	専門教育科目（現代社会）	4	

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
現代社会学特別講義 A	専門教育科目（現代社会）	2-4	
経済学Ⅱ	専門教育科目（現代社会）	2-4	
ヨーロッパ・アメリカ経済論	専門教育科目（現代社会）	2-4	
大学入門ゼミナールⅡ	基盤教育科目	1	
専門ゼミナールⅡ	専門教育科目（現代社会）	3	
専門ゼミナールⅣ	専門教育科目（現代社会）	4	
	アイテムを選択してください。		

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

2. 理念

社会・経済動向を踏まえた経済・ビジネス教育を目指しております（学部 DP1-1, 1-2）。経済学、経営学理論の理論の教授、理解促進と並行し、授業内で時事問題、進行中の経済事象、グローバル経済における諸問題を取り上げ、理論と現実世界とを結びつけ実学意識の醸成を行います（学科 DP4-1）。

また、方法論として、積極的に映像資料、web 資料を活用し、資料収集の方法も享受するとともに、動画を用いた反転授業によるデジタル化、アクティブ・ラーニング実施にも取り組みます。ゼミなどでは、各学生の習熟度に合わせた指導と、モチベーション向上を意識したコミュニケーション、スキルトレーニングを重視します。これらについては、全学 DP3-3（協働力）「周囲の人と協調しながら自らの役割を果たし、協働して物事を進める力」および DP4-1（課題解決力）「学内外の能動的学修経験を通して、課題を発見する力、課題解決のために必要な情報を収集し分析する力、課題解決に向けた行動力」の養成につなげることを意識しています。

【添付資料】

2026年度

羽衣国際大学ティーチング・ポートフォリオ

学科	現代社会学科	氏名	喜多 努	作成日	2026/5/22
----	--------	----	------	-----	-----------

I. 責務

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第1Q等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考
スポーツリーダー論Ⅰ	専門教育科目（現代社会）	3	
スポーツ実習B	基盤教育科目	1	
大学スポーツ基礎論	副専攻科目	1	
専門スポーツA	専門教育科目（現代社会）	2	
専門ゼミナールⅠ	専門教育科目（現代社会）	3	
専門ゼミナールⅢ	専門教育科目（現代社会）	4	
導入ゼミナールⅠ	専門教育科目（現代社会）	2	

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
スポーツリーダー論Ⅱ	専門教育科目（現代社会）	3	
スポーツ実習B	基盤教育科目	1	
専門スポーツB	専門教育科目（現代社会）	2	
専門ゼミナールⅡ	専門教育科目（現代社会）	3	
専門ゼミナールⅣ	専門教育科目（現代社会）	4	
大学入門ゼミナールⅡ	基盤教育科目	1	
	アイテムを選択してください。		

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

2. 理念

生活環境、入学までの経験値、通信制の高校卒業生など様々な学生たちがいますが、学びに対する意欲や成功体験に乏しく、また友人や仲間（時には家族）からの支援や会話が少ないため、普段の交流にも躓きがある学生が増えているように感じます。まずは知り合い・友人を作り、大学での生活が楽しく、学生生活や学びの場が自分の興味・関心を深めていく場であることを感じて欲しいです。

授業においては興味のある分野から社会的な関心を持ち、深く調べたりしながら考察やディスカッションに繋げていけるようにし、自身での学びを増やせるように進めています。（AI の活用なども大きなテーマとなっています）

卒業後の進路選択についても、まず自身で調べ、先輩や担当者などからの情報を元に必要となる知識や能力を学び計画を立てて、挑戦すること。また社会人としてのマナーについても説明し、就職活動を進めていく前に自己管理能力の向上についても指導し、全学的ディプロマ・ポリシー・DP3-2（学修習慣）「自己を管理する力を身につけ、自ら設定した目標に向かって計画的、持続的に学修する習慣」の育成につながるよう指導を進めています。

また、特に強化クラブ・アスリート学生に対する環境整備と教育効果の開発を進め、大学の魅力向上に繋げています。

【添付資料】

2026年度

羽衣国際大学ティーチング・ポートフォリオ

学科	現代社会学科	氏名	田淵 宗孝	作成日	2026/5/19
----	--------	----	-------	-----	-----------

I. 責務

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第1Q等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考
地域研究 A	専門教育科目（現代社会）	2	
Communicative English I A	専門教育科目（現代社会）	1	第1Q
大学入門ゼミナール I	基盤教育科目	1	
専門ゼミナール I	専門教育科目（現代社会）	3	
専門ゼミナール III	専門教育科目（現代社会）	4	
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
多文化共生論	専門教育科目（現代社会）	2	
ヨーロッパ・アメリカ文化論	専門教育科目（現代社会）	2	
導入ゼミナール II	専門教育科目（現代社会）	2	
専門ゼミナール II	専門教育科目（現代社会）	3	
専門ゼミナール IV	専門教育科目（現代社会）	4	
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

2. 理念

インターネットや AI で得られた情報を正しく分析・解釈できるためには、それなりの訓練が必要である。しかしそうした作業自体を厭い、表面的な情報を鵜呑みにしてしまう傾向がみられるところ、それをいかにして克服させるかを、本学における教育の目的としている。

現代社会学科のディプロマ・ポリシーとの関係では、語学科目およびゼミナールについては DP2-1 における「コミュニケーション能力」の向上を、そして講義系科目においては DP1-1「現代社会の課題を理解するための基本的な知識」および DP4-1 における「新たな社会の課題を発見し解決するための考察力」の育成を意識し、授業の組み立てを行っている。

【添付資料】

2026年度

羽衣国際大学ティーチング・ポートフォリオ

学科	現代社会学科	氏名	中島 智	作成日	2026/5/21
----	--------	----	------	-----	-----------

I. 責務

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第1Q等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考
観光学入門	専門教育科目（現代社会）	1	
地域観光論Ⅱ	専門教育科目（現代社会）	3	
観光文化論Ⅰ	専門教育科目（現代社会）	2	
国際観光論	専門教育科目（現代社会）	3	
導入ゼミナールⅠ	専門教育科目（現代社会）	2	
専門ゼミナールⅠ	専門教育科目（現代社会）	3	
専門ゼミナールⅢ	専門教育科目（現代社会）	4	

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
観光資源論	専門教育科目（現代社会）	1	
地域観光論Ⅰ	専門教育科目（現代社会）	2	
観光文化論Ⅱ	専門教育科目（現代社会）	3	
専門ゼミナールⅡ	専門教育科目（現代社会）	3	
専門ゼミナールⅣ	専門教育科目（現代社会）	4	
大学入門ゼミナールⅡ	基盤教育科目	1	
	アイテムを選択してください。		

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

2. 理念

先行きが不透明な現代社会にあって、自分で課題を見つけ、問いを立て、答えを導き出すことが求められています。そのためには、自分で情報を収集し、それらを検証しながら新たに知識を生み出す能力が重要になります。私が専攻している観光学は、比較的若い学際領域の学問であることもあり、学生に教えるというよりも、皆で問いを共有しつつ学んでいくという授業を心がけています。とくに「響きあう関係づくり」をモットーに、ゼミナールでは域学連携活動に取り組んでいますが、地域の現場で学生たちの学習成果を報告し、関係者との情報交換や他大学の学生との学術的交流を図る機会を設けています。

現代社会学科のディプロマ・ポリシーとの関係では、講義系の専門科目の力点は DPI-2 に対応し、観光分野での「専門的な知識の修得」とし、ゼミナールのそれは DP3-I「主体的に行動しながら自己管理ができ、チームワークを重視し、社会で信頼され活躍できる人間力とリーダーシップを有している」に対応し、自ら考えて行動できる力にしています。

【添付資料】

2026年度

羽衣国際大学ティーチング・ポートフォリオ

学科	現代社会学科	氏名	古谷 昌重	作成日	2026/5/7
----	--------	----	-------	-----	----------

I. 責務

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第1Q等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考
専門ゼミナールⅢ	専門教育科目（現代社会）	4	
導入ゼミナールⅠ	専門教育科目（現代社会）	2	
大学入門ゼミナールⅠ	基盤教育科目	1	
観光地理Ⅰ（国内）	専門教育科目（現代社会）	1	
観光資格研究Ⅰ	専門教育科目（食物栄養）	2	第1Q
旅行会社実務Ⅰ	専門教育科目（現代社会）	2	
	アイテムを選択してください。		

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
専門ゼミナールⅣ	専門教育科目（現代社会）	4	
導入ゼミナールⅡ	専門教育科目（現代社会）	2	
大学入門ゼミナールⅡ	基盤教育科目	1	
観光地理Ⅱ（海外）	専門教育科目（現代社会）	2	
観光資格研究Ⅱ	専門教育科目（現代社会）	3	
旅行会社実務Ⅱ	専門教育科目（現代社会）	3	
プロジェクト演習A	共通専門科目	2	

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

2. 理念

大学への進学は、学生にとって人生の大きな転機であり、大学での学びが自身の興味・関心を深め、友人や地域、社会との関わりを通じて互いに学び合う貴重な場であることに気づいてもらいたいと考えています。そのため、自己肯定感と自信を持ってもらえるような授業作りを心がけています。また、特に専門科目においては、学生が自ら調べ、考え、まとめ、発表し、その成果を振り返るプロセスを経験できるような教育を目指しています。このような自律的な学びの体験を通して、学生が社会人としての責任を自覚し、社会に貢献できる人材へと成長することを期待しています。これらの理念に基づき、学生が学問的な知識だけでなく、人間性や健康面でのバランスを重視し、地域や国際社会で活躍できるような総合的な能力を養うことを目指しています。国際的な視野を持ち、他者と協調しながら社会に貢献できる人材の育成を重視しています。（特に DP1 1、DP3 1 3、DP4 1 に該当）

【添付資料】

2026年度

羽衣国際大学ティーチング・ポートフォリオ

学科	現代社会学科	氏名	宮竹 愛子	作成日	2026/5/19
----	--------	----	-------	-----	-----------

I. 責務

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第1Q等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考
現代社会学特別講義 A	専門教育科目（現代社会）	2	
専門ゼミナールⅠ	専門教育科目（現代社会）	3	
専門ゼミナールⅢ	専門教育科目（現代社会）	4	
国際文化研究 A	専門教育科目（現代社会）	2	
導入ゼミナールⅠ	専門教育科目（現代社会）	2	
専門英語Ⅰ	専門教育科目（現代社会）	2	
Communicative EnglishⅡA	専門教育科目（現代社会）	2	
	アイテムを選択してください。		

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
大学入門ゼミナールⅡ	基盤教育科目	1	
専門ゼミナールⅡ	専門教育科目（現代社会）	3	
専門ゼミナールⅣ	専門教育科目（現代社会）	4	
Communicative EnglishⅠB	専門教育科目（現代社会）	2	
専門英語Ⅲ	専門教育科目（現代社会）	3	
異文化コミュニケーション入門	専門教育科目（現代社会）	1	
	アイテムを選択してください。		

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

2. 理念

学生一人ひとりが「かけがえのない存在」として、多角的でユニークな視点で物事を考え、社会に存在する問題や課題にみずから積極的に取り組むことを教育目標として掲げている。そのために、授業中はアクティブラーニングを採り入れ、かつ反転授業が今後の学びに有効になるような指導を心がけている。授業では、学生が楽しみながら問題意識を掲げ学習を継続できるよう、講義で取り扱うテーマを工夫している。現代社会に基づく身近な内容が主であり、近年はSDGsに関連する内容が多い。

すべての講義において、「チームワーク」や「リーダーシップ」を養うことを目標にすることで、卒業後は「実践的な職業人」として「主体的に行動」し、「統合的な学修経験」と「創造的思考力」を基に「問題解決力」「創造的思考力」を修得できる Only Ones を育てることを目指している。

【添付資料】

2026年度

羽衣国際大学ティーチング・ポートフォリオ

学科	現代社会学科	氏名	中野 あい	作成日	2026/5/25
----	--------	----	-------	-----	-----------

I. 責務

【前期担当科目】 ※クォーター実施科目の場合は配当学年の後に第1Q等とご記載ください

科目名称	科目分野	配当学年	備考
現代社会学特別講義 C	専門教育科目（現代社会）	2	
財政学	専門教育科目（現代社会）	3	
経済学 I	専門教育科目（現代社会）	2	
大学入門ゼミナール I	基盤教育科目	1	
導入ゼミナール I	専門教育科目（現代社会）	2	
生活と経済	基盤教育科目	1	
	アイテムを選択してください。		

【夏期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		

【後期担当科目】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
生活と経済	基盤教育科目	1	
経済学 I	専門教育科目（現代社会）	2	
大学入門ゼミナール II	基盤教育科目	1	
経済学入門	専門教育科目（現代社会）	1	
公共経済学	専門教育科目（現代社会）	3	
導入ゼミナール II	専門教育科目（現代社会）	2	
	アイテムを選択してください。		

【春期集中】

科目名称	科目分野	配当学年	備考
	アイテムを選択してください。		
	アイテムを選択してください。		

2. 理念

＊近年、大学進学率が上昇しています。社会で働いている期間を学校で学ぶわけですから、何となく学校に来て、何をしたいかわからない学生が増えてます。そこで、ひとりひとりの学生に明確に目標を持ってもらい、目標に向かってせいいっぱい努力をしてほしいと思います。学生には、入学から卒業まで本学でモチベーションを維持し、何事にもめげずに成長してもらいたいと思います。

＊本学現代社会学科で学ぶ学生にはしっかりと経済・経営の専門性を身に付けてもらいたいです。大学生での貴重な4年間で、経済・経営の知識を豊富に学んでもらい、それを社会で生かせたら素晴らしいと思います。また、他学科や留学生の友人ともたくさん話ができれば、幅広い視野や価値観を持ったすてきな人材育成が期待できます。

全学的ディプロマ・ポリシーとの関係では、経済系科目ではDP4-I「新たな社会の課題を発見し解決するための考察力、問題解決力を修得している」の育成に力点を置き、その他の科目ではDP3-I「主体的に行動しながら自己管理ができ、チームワークを重視し、社会で信頼され活躍できる人間力とリーダーシップを有している」の育成に力を入れています。

【添付資料】